

第81回藤野地区まちづくり会議全体会開催結果

- 日 時 令和3年10月29日（金）午後7時～午後9時
- 場 所 藤野総合事務所4階会議室
- 出席委員数 19名出席（3名欠席）
- 傍聴者 0名

1 開会 小山副代表

2 あいさつ 宮野代表

3 議 事

(1) 中山間地域の持続可能な医療のあり方に関する懇話会の状況について

事務局より、令和3年8月並びに9月に開催された「中山間地域の持続可能な医療のあり方に関する懇話会」について、懇話会資料並びに議事録による説明を行った後、藤野地区まちづくり会議からの推薦により懇話会に参加している石橋医師により、懇話会の様子等が説明された。

<意見・質疑>

まちづくり会議原田委員から、藤野地区の子どもを持つ母親へのアンケート結果を集計した資料が提出され、小児科診療に関する様々な課題について意見が出された。

石橋医師からは、懇話会での議題の中では、小児科診療に関する事案も重要な案件であり、今回いただいた意見について、懇話会へも地域の意見として提出する旨の回答があった。

(2) 令和3年度藤野地区地域活性化事業交付金について

新たに令和3年度として申請書が提出された地域活性化事業交付金について、事務局より各事業の概要を説明するとともに、今年度新規に申請された事業について、各団体の代表者から事業の説明を行い、その後の委員との質疑応答、当該事業に関するまちづくり会議としての意見を取りまとめた。

(○委員からの意見・質問 ●申請者の回答)

① 事業名：子供たちの居場所と交流の場づくり

申請者：藤野プレーパーク準備会

<主な意見・質問、回答>

○活動に参加したことがあるが、子供だけが遊ぶのではなく、子供が遊ぶところに老人も入って一緒に、癒される時間を提供する。地区の異なる子供と、高齢者が交流の場を持つという、少ないチャンスを実現してくれるプレーパーク準備会の活動というものに期待している。

【まちづくり会議としての意見】

・参加者を募集する事業については、幅広く募集を行うことが求められるため、交付決定にあたっては、募集範囲に関する状況を確認するとともに幅広く募集をしてもらいた

い。

・各地区にある子供会への呼び掛け等を含め、自治会等と連携を図ってもらいたい。

② 事業名：オープンスペースよりどころ

申請者：オープンスペースよりどころ

<主な意見・質問、回答>

○事業実施の計画地区については、乗合タクシーが運行しているが、それはあまり利用されていないのか。乗合タクシーには、駅や病院などへの運行もしているので、利用してもらいたい。

●地域の方から、乗合タクシーの利用では、目的地へ行くために乗り継ぎが必要で、時間を要することから移送業務について相談を受け事業実施を計画した。

乗合バスの機能も生かしつつ、他のニーズも探っていきたい。

【まちづくり会議としての意見】

・移送業務については、地域の公共交通として乗合タクシーの利用率を高める必要があるため乗合タクシーの利用を検討してもらいたい。

・高齢者、児童向けサロン等の事業についても、自治会において同様の活動をしていることもあるため、地区の自治会と調整してもらいたい。

③ 事業名：地域のフリーペーパー「里山へっず」の発行

申請者：山シビレ研究所

<主な意見・質問、回答>

○フリーペーパーの発刊については、継続が必要だと思うが、交付金交付後の発刊の継続についての考えを聞きたい。

●発刊継続のため、広告掲載が重要と考えている。広告掲載のためにも、発行部数を増やし、広告を掲載しやすい媒体にすることが重要と考えている。また、掲載内容、発行場所についても、藤野を中心とするが、相模湖や周辺地域の情報を掲載し、広く情報発信していくことを検討している。

④ 事業名：地産ガチャ

申請者：地産ガチャ

<主な意見・質問、回答>

○ガチャは有償で、収入は今回の申請に入っていると思うが、収益はどのようになっているか。

●ガチャの補充に要する費用や、中身への対価等もあり、ガチャによる利益は出ていない。今回の交付金申請により、ガチャの設置を増やし事業を継続していける状況に持っていきたいと考えている。

⑤ 事業名；2021年てってCamp

申請者：ふじの森のようちえん“てって”

【まちづくり会議としての意見】

・参加者を募集する事業については、幅広く募集を行うことが求められるため、交付決定にあたっては、募集範囲に関する状況を確認するとともに幅広く募集をしてもらいたい。

- ・各地区にある子供会への呼び掛け等を含め、自治会等と連携を図ってもらいたい。

⑥ 事業名：伝統玩具を通して世代間交流を促すプロジェクト

申請者：藤野昔あそびの会

【まちづくり会議としての意見】

- ・参加者を募集する事業については、幅広く募集を行うことが求められるため、交付決定にあたっては、募集範囲に関する状況を確認するとともに幅広く募集をしてもらいたい。
- ・各地区にある子供会への呼び掛け等を含め、自治会等と連携を図ってもらいたい。

⑦ 事業名：藤野 農林福藝連携プロジェクト 基盤整備

申請者：藤野農林福藝連携プロジェクト

<主な意見・質問、回答>

特になし。

まちづくり会議から事業全般について、次の意見が出された。

- ・交付金を交付した結果、成果がでたのか。地域の人がどのくらい参加しているのか。地域にどのくらいの経済効果があったか等の検証が必要である。
- ・申請内容に対して、意見を述べるだけであるが、提言できる立場でなければいけないと思う。
- ・過去に実施した団体との横のつながりが必要であるので、活用をお願いしたい。
⇒相談時において、地域の情報を提供し、連携が図れるよう伝えていく。
- ・地域にいろいろな団体があり、それぞれが個別に活動していくのではなく、地域の既存の団体と新しい団体がうまく関わりを持っていくことが、まちづくりの一つだと思う。申請にあたっては、地域の団体と調整してもらいたい。
⇒地域の中で、バラバラな形にならないよう、相談時の対応を工夫していきたい。

4 その他

まちづくり会議全般に関する意見として、次のことについて再確認がなされた。

- ・まちづくり会議については、地域の課題解決に向けて自主的に話し合い、その対策を検討する場である。
- ・本日出された意見については、市や区に伝えてもらいたい。
⇒本日いただいたご意見等は、区や市に伝えさせていただく。

5 閉会 加藤副代表

次回の全体会の日程

日時：令和4年1月13日（木） 書面開催の予定